

産業廃棄物処理業における死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	起因物 (小)	事故の 型	労働者 規模
2017	1	15～16	作業後、別棟にあるトイレで用を済ませて作業場所に戻る時に、足を滑らせて仰向けに転倒し、右手をついて右手首を骨折した。当時は凍結した地面に少量の雪が降り、滑りやすい状況だった。	47	719	2	30～49
2017	1	9～10	バックヤードにおいて、通路の壁面に向かって立ち、床洗浄機の片付け作業を行おうとしたときに、店舗従業員が押して来た商品運搬用カートに右側から激突され、左足首の内側を痛めた。	59	362	6	30～49
2017	1	8～9	4トントラックに廃棄物コンテナを積み込むため、後輪に右足をのせてクレーン作業をしていたとき、飛散防止用の網を押さえていたゴムに片足が絡まり、それを取ろうとして右足がタイヤから滑り落ち、足を着いて転倒をし、骨折をした。	51	221	1	10～29
2017	1	13～14	廃タイヤをトラックのパワーゲートを利用して荷台へ移動し、タイヤを重ねる作業（50本程度）をしていたが、右手中指に力が入らなくなったり腱が断裂してしまった	49	911	19	1～9
2017	1	9～10	ごみを収集中に、左手に持っていたごみと共に左手を回転板に巻き込まれ、回転板を逆転させ手を引き抜いた。	43	162	7	50～99
2017	1	8～9	トラックに積み込んでいた廃棄物を降ろす為に、後ろの荷台を開けたら木枠（1mぐらいの四角）が落ちてきて鎖骨辺りにぶつかった。	50	522	4	10～29

2017	1	22~ 23	廃棄物焼却炉プッシャー格納庫の外で点検作業終了後の動作確認中、プッシャー下部のローラー付近に点検中に使っていた投光器を取り外していないことに気づき、格納庫内に入り投光器を取ろうとしたが取れず、そのまま後ろから来たローラーと格納庫のフレームとして使われているH鋼に腕を挟まれた。	20	169	7	~ 49	30
2017	1	18~ 19	プラント更新工事中に、作業終了後に1階フロアに下りようと昇降梯子まで行ったが、下りずに破砕機点検口前から横の架台に飛び移って下りようとしたが、架台（約2.7m）から落下した。	45	391	1	~ 29	10
2017	1	14~ 15	ブロック撤去現場にてトラックに積み込むために重機のバケットにコンクリガラを積み重機を旋回しようとしたところ、積んであったコンクリガラが落下し、左足に当たってしまった。	41	141	4	~ 29	10
2017	1	17~ 18	荷下ろし作業中、物を取るためトラックから降りようとしたら、あおりに足が引っ掛かり転倒し、あおりに腹部を強打した。	46	221	2	—	
2017	1	16~ 17	分別（事業所で）作業中、コンテナの中からプラスチックのケースを取ろうとして、フレコンバックを踏み台にして、降りる時にフレコンバックの紐に足をからませてバランスをくずし、右後方に上向きに倒れてしまい、右の肘と手首足首を痛めた。	47	379	1	1~ 9	
2017	1	3~4	ごみの運搬回収のため、トラックで走行中に、中央よりやや右側を走行し、少しよそ見をした時に突出している柱に衝突し負傷した。	66	221	17	~ 29	10
2017	1	14~ 15	塵芥車の屋根に積んである荷物を整理するために屋根で作業中、車のサイドブレーキの引きが甘かったため車が動きだしてしまった。車を止めようと屋根から飛び降りた時に左足のかかとを骨折してしまった。	37	417	3	1~ 9	
2017	1	9~ 10	当店のダンボールを搬出し車両に運ぶ際に、ダンボールを抱えたまま、店の前の歩道を横切ろうとしたとき、この歩道を歩いていた歩行者、自転車に気をとられてしまい、足下の段差に気づかずに、踏み外し足を捻挫してしまった。なお、休業は2週間程度の予定で、	39	417	19	~ 29	10

			骨折はしていない。				
2017	1	6~7	作業現場にて、バキューム車による汲み取り作業を始めようと汚水現場に向かう階段を下りたとき、バランスを崩して右足を捻るような形で着地し、転倒した。寒い早朝で暗い中を急いで作業に入ろうとしていたため足元をよく確認せず、右足首右側面を骨折してしまった。	37	413	19	30 ~ 49
2017	1	5~6	道路にてゴミを回収する為停車した際、後方から追い抜きをしようとした相手方4t車の左側面と自車右側面に追突された。	51	221	17	50 ~ 99
2017	1	11~ 12	粗大ごみの荷下ろし中、トラックの荷台に乗ろうとしたところ、鉄製の床が濡れていたため足を滑らせ、尾てい骨を強打した。	67	416	2	50 ~ 99
2017	1	6~7	構内で焼却炉のメンテナンス中に焼却炉のゆがみを直そうとした時、誤って焼却炉の部品が飛んできて負傷した。	23	142	4	1~ 9
2017	1	8~9	当社構内にて、木くず破砕機のスクリーン（鉄製の網のようなもの、重さ約80kg）の交換作業をしていたところ、スクリーンをセットする際に、誤って右足を挟んでしまい負傷した。	57	212	7	10 ~ 29
2017	1	8~9	当日は、朝から気温が下がり、昨日の雪が残っており構内の路面が凍結状態であった。朝礼、終了後、休憩室から作業場へ移動中凍結している所に足を滑らせてしまい、尻もちをついた状態で転倒し、その際に支えた手（左手）を負傷した。	54	419	2	—
2017	1	14~ 15	工場中で、4tトラックから降り、積荷を降ろそうとして後ろのドア（観音開き）を開けた。その際、積荷がドアを押し、約250kgのドラム缶が落下し、避けようとしたが間に合わず、背中に当たり負傷（打撲）し、その勢いで地面に押し倒され、左太腿を打撲した。	69	611	4	10 ~ 29
			会社において、収集・運搬してきた荷降ろし作業中、トラック（2t平ボディ）荷台アオリのコンパネに足をのせて立ち位置を移動し				10

2017	1	16～ 17	ようと振り返ったところ、積荷（フレコン袋）に身体がぶつかりバランスを崩した為、荷台から落下（約高さ1.8m）、その際コンクリートの地面に左足を強くつき、その際にスニーカータイプの安全靴を履いていたが、踵を骨折した。	46	221	1	～ 29
2017	1	17～ 18	自動車用道路で、大型車を駐車しようとしてバックしたときに、工場内カーブミラーに接触させてしまい、ミラーの位置がずれたので戻そうと、パレット上に製品が置いてあるものを台の代わりにして上がってしまい、ミラーに触った途端、ミラーが外れ、一緒に転落した（2m程度）。	62	611	1	～ 99
2017	1	14～ 15	フォークリフトに乗る前に、運転者名の名札（車庫入口から1.8m先）を取りにフォークリフト置場の倉庫に入った。その時、フォークリフトと車庫の壁の間が狭く（45cm）、横向き（カニ歩き）で名札を取って倉庫から出るところで、左足が突起物（15mmの段差）に当たり、倒れこむときに右足で支えようとして、右足を捻った。	48	419	2	—
2017	1	16～ 17	社内工場内で社員が重機（バックホウ）を運転していた際、重機でゴミを挟んだ拍子にゴミの破片が勢いよく飛んでしまい、同じ工場内で作業をしていた被災者（下を向いて作業をしていたため飛んできたゴミ（10cm×10cm程の大きさの塩ビパイプ）を避ける事ができなかった）に当たってしまい負傷した。	46	529	4	10 ～ 29
2017	1	13～ 14	会社内倉庫にて、パッカー車にゴミの積み込み作業をしていた際に、ゴミが入っていた鉄の入れ物（網目状になった鉄の入れ物）にバランスを崩し、左の脇をぶつけてしまった。	58	391	3	10 ～ 29
2017	1	15～ 16	敷地内にて、廃棄物をのせている10tトラックコンテナ車から廃棄物を降ろす為にあおりを開ける際、あおりを止めている固定ピンが固く、木の棒で固定ピンを下から叩き、そのピンを抜いた際に勢いよくあおりが開き、あおりの一部が左頬に直撃し、鼻から出血し、左頬骨を骨折した。	52	221	6	30 ～ 49
		14～	トラックに積んでいる段ボールを降ろす際、後ろのドアを開けよう				

2017	1	15	としてつまずき、左膝を負傷した。	61	379	2	—
2017	1	10～ 11	被災者が、作業所に於いて、粉碎機のモーターのベルト5本中1本のはずれに気付き停止させたが、完全に停止するのを待たず、大丈夫だと思い手が触れた瞬間に巻き込まれそうになり、すぐ手を抜いたが誤って右手人差し指・薬指の先を負傷した。	53	162	7	—
2017	1	14～ 15	工場内での荷降ろし中、ウイング車の積荷（ダンボール）を荷台の上で引っ張り出そうとしたところ、ダンボールが破れたため体勢を崩しそのまま落下して、腰部他を強打した。	53	221	1	50 ～ 99
2017	1	18～ 19	当社の複合処理施設（キルン）にて、入口フードスクレバー（コンベア）が過負荷により警報が作動し、機械が停止したことにより、作業員2名で対応処置を行い、最終点検のため再稼働させた後、上部の点検口（430×345）を目視確認のため、作業通路より約2.1m上部の作業ステージに上がり、見えにくいため、点検口横の減速機に腰を掛け目視しようとした移動中に、足元が滑り、誤って開放された点検口に右足が入り、踵部、つま先部を負傷した。	35	224	7	50 ～ 99
2017	1	8～9	解体後の鉄の捨て場にて、2tトラック後部のあおり（着脱可能）取り外し作業を行い、終了したのであおりを取り付けようとした際に手が滑り、あおりの角が右足の甲（安全靴を着用）に落下し、受傷したものである。	33	221	4	—
2017	1	17～ 18	工場汚泥焼却炉敷地内で、機械設備の一部である配管の清掃作業を脚立（高さ150cm）に乗って行っていたところ、誤って脚立から落下し負傷した。安全帯の着用を義務づけていたが着用していなかった。	38	371	1	100 ～ 299
2017	1	14～ 15	弊社の破碎ラインで作業中、ドラム式磁選機の駆動チェーンに金属片が引っかかっているのを見つけ、それを取り除こうと左手で金属片を掴んだ際に巻き込まれてしまい、左手甲から薬指周辺を負傷した。	34	169	7	10 ～ 29

2017	2	16~17	Fステージ脇ボックス片付け作業中、荷台で台木につまずいて、右足甲を骨折した。	24	221	2	50 ~ 99
2017	2	13~14	作業場内において、廃棄物（一斗缶）をアリゲーターで潰した後、一斗缶をパレットに載せようとしたら、一斗缶の中に残っていた少量の油が地面にこぼれ、足を滑らせて転倒してしまった。	48	417	2	10 ~ 29
2017	2	8~9	ダスト減容機の飛散防止BOX上で詰まりの除去を行っていたところ、蒸気にあおられバランスを崩し、BOX上より落下し、足をついてしまった。	60	169	1	30 ~ 49
2017	2	2~3	廃棄物収集作業中、パッカー車に巻き込む為ダンボールを持って歩いている時に、段差を踏み外して左足を捻ってしまい負傷した。	29	417	19	10 ~ 29
2017	2	17~18	工場内で集塵機のフィルターをエアブロー清掃している時、後方のコンテナの後輪にエアホースが引っ掛かり、人力では外せないので重機コンテナを前に押して外そうとした時に、手で取ろうとして後輪に接触し負傷した。	48	362	7	10 ~ 29
2017	2	14~15	資源回収場所から次の回収場所へ車で向かう途中、側道から右折しようとしたところ、右から直進してきた車と衝突し負傷した（頸椎・腰椎捻挫、頭部挫傷）。	33	231	17	1~ 9
2017	2	14~15	10t車のコンテナの上に乗って、シートを掛ける作業をしていた時に誤って転落し、左手の手首のところが骨折した。	57	391	1	1~ 9
2017	2	14~15	事務棟ゴミステーション前にて、産業廃棄物収集作業中、勾配のあるゴミステーション前で下り勾配側が右足、上り勾配側が左足で歩行中、緩い勾配ではあったが体勢を崩した。右足首を捻り、転倒しそうになり、負荷のかかる状態で左足を地面についた。その結果、左足アキレス腱が損傷した。	55	416	2	30 ~ 49
			鉄くず荷下ろし場において、搬入した鉄くず荷下ろし作業中、荷台				10

2017	2	7~8	において従業員の操作する重機に取り付けられていたマグネットと接触し本件の災害発生に至った。尚、被災者とマグネットの接触の原因ならびに事故の詳細は、本人死亡のため不明である。	57	212	6	~ 29
2017	2	15~16	回収先事業所で、段ボールの改修作業中にパッカー車巻き込み口にダンボールが挟まったため、押し込もうと手を差し出したところ、右手が挟まり、巻き込まれた。右手甲の皮がはがれ、3本の骨折をし腱の断裂となった。	42	221	7	—
2017	2	8~9	自社リサイクル工場内に於いてリサイクル砕石機械の作業前の点検整備中、ハシゴ5段位の所から足が滑り体ごと落ち脇腹を打ち受傷した。	42	371	1	1~ 9
2017	2	16~17	当社工場作業所内において、オペレーターはパワーショベルを使って収集ごみの整理処理中、突然同重機エンジンがオーバーヒートにより異音と共に停止してしまった。このため停止後、約30分程度経ったところで重機補助作業員はラジエーターに水の補給を考えながら、ラジエーターの蓋に触った途端に上記が噴き出て両手甲部に蒸気があたり火傷を負ったものである。	41	142	11	10 ~ 29
2017	2	11~12	当社工場内にて、2tクレーン車荷台から廃棄物を下ろす作業にて、手作業で荷台から廃棄物を下ろし終え、車体に右手を添えていた時に、同僚が気付かずにパワーゲートを閉めるスイッチを押してしまい、車体とパワーゲートに右手を挟まれ負傷しものである。	70	221	7	—
2017	2	14~15	中間処理工場内で仕分作業中、木くずを投げて仕分けしており、ヘルメットもかぶらず周囲も確認せず木くずをなげ、被災者の顔に当たり怪我をした。	22	522	4	1~ 9
2017	2	14~15	天井クレーンを使って、バツカンの中に入ったスクラップをダンプの荷台に積み込み作業中、バツカンをつくり返す為にフックを掛け換え、既に積み込まれていたスクラップの上での作業で地盤が不安定だった為にバツカンが滑り、左足の甲にずり落ちて来た。	46	611	6	1~ 9
			当社工場において焼却炉運転中、ゾルバリット補給タンクへゾルバ				30

2017	2	10~11	リットを投入する為、はさみで外袋そして中袋のビニールを切って開封した途端、中の薬剤が吹き出し薬剤が右眼に入り負傷した。	44	519	12	~ 49
2017	2	16~17	自社敷地内にて、自社トラックから降車する際、ひじ掛けに手をつけて降りようとしたら右手中指の筋が断裂した。	48	221	3	—
2017	2	15~16	廃棄物の選別作業を行っている際、重機で廃棄物をつかんだ時に塩化ビニールパイプが折れて、その破片が弾け飛び被災労働者の左目下部に当たり負傷したものである。	46	145	4	50 ~ 99
2017	2	10~11	当社内において、トラック（2tパネル車）荷台での廃棄物の荷降ろし作業中、高さ約1.2mの荷台から降りようとした。一旦、荷台に腰を下ろし、トラックのリアガードに足を掛けたが滑って転落し、右上腕部をコンクリート床面に打ちつけたものである。	52	221	1	30 ~ 49
2017	2	8~9	廃棄物の分別作業をしていたところ廃棄物を移動させていた油圧ショベル（ユンボ）のキャタピラー部分に接触して負傷した。	57	145	7	1~ 9
2017	2	8~9	ヤード内において、木くずを運び出す為、10tコンテナに木くずを積載し、シート掛け作業中、足元の積荷がずれて、バランスを崩し、コンテナ上部から約2m下の地面に落下した。救急車にて病院に搬送した。	53	611	1	1~ 9
2017	2	10~11	分別場にて、バックホー運転者が廃棄物を搬入後、バックホーの運転席にて、廃棄物の分別処理作業中の被災者に、搬入した廃棄物について打ち合わせを行うために話しかけた。バックホー運転者は、安全レバーを引き、作業を中断した。打ち合わせ終了後、被災者が立ち去ったと思い作業を再開するために、安全レバーを戻し、バックホーを方向転換するために右側のキャタピラーを後進させた。その時、被災者の左足がキャタピラーの下敷きになり骨折した。安全靴を着用していた。	38	145	6	10 ~ 29
			ニブラ場にてブロアモーターの入ったフレキシブルコンテナ袋にある程度モーターが溜まってきたので、折り曲げてある投入口を手で				10

2017	2	18~19	伸ばそうとしたところ、取っ手が底の方にずれていたため、モーターの重量で手での作業が困難と判断し、ニブラを使用して取っ手を引き上げようとした。その際、確認不足のため、補助作業員の右手親指を一緒に掴んでしまい災害が発生した。	21	145	7	~ 29
2017	2	14~15	リサイクル工場内において、収集したビニールをフレコンバッグに入れる作業中、フレコンバッグ（ビニール共で重さ10kg）の紐を両手で持ち、後ろ向きで引っ張り移動していたところ足がもつれ後方に倒れ、尻もちをついた際に胸椎を負傷した。	63	417	2	30 ~ 49
2017	3	11~12	敷地内でパッカー車でゴミ巻き込み作業中、回転板を止めないで左手でゴミを入れていて、左手が残っている状態で右手でゴミを拾い、気をとられているうちに左手が巻き込まれ、慌てて引っ張り出そうとした際、板に腕時計が引っかかり、左手の手の甲の皮がはがれ負傷した。	57	221	7	100 ~ 299
2017	3	8~9	ホテルの地下ダンボール集積場で、パッカー車にてダンボール回収をしていたところ、パッカー車の回転板とダンボールの間に軍手が挟まり一緒に巻き込まれ怪我をした。	42	169	7	30 ~ 49
2017	3	9~10	病院からの回収作業中、裏出入口から廃液の入った20?ポリタンクを1本ずつ持ち、駐車場に止めている車に向かうため、緩やかな土手1m位の高さから上る途中で、左足ふくらはぎからバキッと音がして衝撃を受けた。	53	921	19	50 ~ 99
2017	3	9~10	ごみ集積所で普段は2名で積み込みをするが、積み荷がいっぱいになってきたので、この集積所の物を積んで荷卸しに行く予定であり、運転手も積み込みを手伝っていた。袋を塵芥車へ押し込んでいた際、手伝っていた運転手が死角となり、気づかずに加害者が操作ボタンを押したため、指を巻き込まれた。	67	229	7	1~ 9
2017	3	16~17	作業場において、回収した雑誌を保管している箱（高さ約1.5m）がいっぱいになったため、その雑誌を足でならそうと箱の上に登ろうとした。その際、箱の上に足をかけ損ね、箱の角に足をぶつけ転落	43	611	1	30 ~

			し負傷した。				49
2017	3	11~12	廃棄物収集中、トラックの荷台の廃棄物の整理をしていて、荷台から降りる際、体勢を崩して下へ落下し、足を強く打ったため動けず救急搬送された。	56	221	1	1~ 9
2017	3	10~11	ごみBOXからごみ袋を取り出す作業中、左手でBOXのふたを上を持ち上げ支え、右手でごみ袋を取り出す際に、ごみ袋の重みに気を取られ、左手を放してしまい、前かがみの状態の首へBOXのふたが落ちてきた。	34	379	6	100 ~ 299
2017	3	15~16	会社敷地内の焼却プラント入口のゲートに設置されている移動式折り畳み扉の動きが悪かったので、脚立に乗って動作の確認をしていたところ、バランスを崩して倒れこみ、ゲートの柱に左肩をぶつけて負傷した。	55	371	1	1~ 9
2017	3	8~9	事務所駐車場で受水槽工事業者の車両をバックで誘導中、誘導している車両が急加速し、車体とブロック塀に挟まれた。	66	231	6	10 ~ 29
2017	3	16~17	構内で作業中、バケットから下りようとしたとき、手元が滑り右足から滑り落ち、右足を捻った。	31	141	1	100 ~ 299
2017	3	9~10	産業廃棄物積込中に重い物を持ち上げた際、足の接地面の段差に気づかず、右足首を捻り負傷した。	44	417	19	50 ~ 99
2017	3	17~18	産業廃棄物の中間処理を行っている工場で作業員として作業時の事故である。プラント中にある手選室で、選別作業終了後、コンベアの先に取り付けてあるスクラップを取り除く為の自選機があって、自選機コンベアの引っ掛かったスクラップを取り除こうとして角材を持って処理した際、持ってた角材を動いているコンベア内側に落とし、その落とし角材がすぐ近くで回っているローラーに巻	68	522	4	10 ~ 29

			き込まれ一回転し、ローラー近くにあった左手首付近を直撃強打し、手首を痛めた。				
2017	3	9~10	工場内にて産業廃棄物の選別作業中に、雨天のため履いていた長ぐつで廃棄物を踏んだところ、廃棄物の中に隠れていたガラスの破片が、ゴム長ぐつの底を貫通して足の裏に刺さった。	43	529	9	10 ~ 29
2017	3	14~15	構内のゴミ集積場より小走りで移動中、事務所前スロープ横の段差に左足のつま先を引っかけて体勢を崩し、前のめりに転倒し、左橈骨末端骨折を負った。	58	416	2	1~ 9
2017	3	11~12	車両系建設機械油圧ショベル（重機）のクーラント液（冷却液）を補充する際、ラジエターが冷える前にフタを開けてしまい、沸騰した液が飛び出し、手の甲にふれて火傷を負った。	50	141	11	10 ~ 29
2017	3	13~14	運搬作業中、会社へ帰る際、トラックに積んだプラスチックの袋がずれていたため直そうとトラックのあおりに乗ったところ、誤ってバランスを崩し、地面へ足から落下した。	63	221	1	30 ~ 49
2017	3	15~16	本社工場内で、箱の中に入っている鉄屑をクレーンの下へ出している作業中、箱の中に古い機械が入っていたので取り出そうとしたところ、その機械に切りカスがついていたため、指を切り出血した。	66	521	8	10 ~ 29
2017	3	11~12	破碎機の高さ1mくらいの台上で、プラスチックの投入作業をしている時に足を踏み外し、投入台横の斜面から滑り、台を滑り降りるようにして地面に着地したとき、バランスを崩してよろけたところ、付近にあったコンプレッサーのボンベに左脇腹をぶつけた。	69	162	3	10 ~ 29
2017	3	10~11	工場内にて、550kg位のフレコンが乗っているパレットの計量終了時、パレットからハンドリフトを抜こうと何回か引っ張ったところ、力を入れすぎた事により左肩が痛み出し、動かす事が困難になった。	63	362	19	1~ 9
2017	3	9~10	工場内梱包機清掃作業中に、バランスを崩して脚立より転落した。	57	371	1	30 ~

2017	3	17~18	資材置場にて鉄板に付いた木板を剥がしていた時、鉄板と木板の間に工具と手を入れ、持ち上げようとした所、工具が不安定で手の方に動き、工具の刃が指に刺さった。	53	364	8	1~9
2017	3	9~10	回収先の事業場（広い場所）でパワーゲート付の4tトラックにて、産業廃棄物の回収作業を行っていた際、積込時に右手で荷を支え、左手でパワーゲートのスイッチを操作中、左手の親指がパワーゲートのレールの中に入っていた事に気付かず、パワーゲートを上昇させ、パワーゲートの支柱に左手親指が挟まってしまい、爪から先の部分を切断した（手袋着用）。不安全または有害な状態及び環境は無かった。スイッチには長いコードが付いており、柱に手を掛けて操作をする必要はない。	49	221	7	10~29
2017	3	15~16	得意先より2tダンプで回収してきた150個程のバッテリー（1個当15kg）を、破碎工場に荷卸し作業している際に（荷台からパレットに積卸）、腰に少し痛みを感じ始めたが作業を継続したところ、痛みが強くなった。積降ろし作業後、2tダンプにて廃棄物回収業務など行い帰社したが、更に痛みが酷くなった。	44	611	19	10~29
2017	3	10~11	リサイクルセンター内で産廃ゴミを選別中、トン袋に入っていたオイル缶を（潰れている、中小缶、アルミ製）鉄類の置き場へ置くため、取り出していたところ（作業中はゴム手袋を着用）、手に持った缶が鋭利にとがっていたため、左手小指の先を裂傷した。	53	911	8	30~49
2017	3	16~17	工場内で、フォークリフトの爪に集荷缶を乗せて、缶と建物の洗浄を行っていた。集荷缶の洗浄を先に終えて建物の壁を洗っていたところ、リフトの爪から缶が滑り、建物の壁と缶の間に挟まり、胸から下を圧迫された状態となった。	48	222	7	100~299
2017	4	8~9	社内選別場で、4tユニック車により産廃用の鉄カゴ（150×150×130cm）を置いたとき、横に置いてあった産廃用の鉄カゴ（150×150×130cm）に左手の人差し指を挟んで負傷した。	48	212	7	1~9
			構内で車両の転回スペースの掃き掃除をしていたところ、後方に人				

2017	4	9～ 10	がいることに気づかずに後退してきたフォークリフトの右後方部分が左腰部分に接触して転倒し、右後輪で左足を踏まれた。その際に靴が脱げてしまった左足を、前進したフォークリフトの右後輪で再度踏まれ、左足甲裂傷と左中足骨骨折を負った。	68	222	6	～ 299	100
2017	4	8～9	廃棄物処理工場内の圧縮機で圧縮作業中、圧縮機のアームが出てきた際、破碎済みビニールがあったため取り除こうとしたところ、機械に手袋が引っ掛かりそのまま行って行かれ、右手首関節を不全切断した。	37		7	1～ 9	
2017	4	10～ 11	ゴミステーションにおいて、一般廃棄物収集作業中、ゴミ庫からゴミ袋を4袋取り出し、右手に2袋、左手に2袋持ち、車に積み込もうとゴミ庫から振り返った時、高さ5～6cmの段差に足を取られ転倒し、背中から腰にかけて痛みが生じた。	67	419	2	～ 49	30
2017	4	9～ 10	路上にて、可燃ごみ回収作業に従事していた被災者が、ごみ回収中にカラスよけネットに足が引っかかり転倒し、左足を路面に打ちつけた。	63	379	2	～ 29	10
2017	4	11～ 12	パッカー車で棚板をまきこむ時に、反動で棚板が跳ね返り、顎に接触し骨折した。	58	221	6	～ 29	10
2017	4	15～ 16	8?コンテナにシートを掛けるため、荷物の整理をコンテナの上で行い移動したときに足を滑らせ転倒し、コンテナの淵（1.5mくらい）に左脇腹をぶつけた。	47	611	2	～ 29	10
2017	4	18～ 19	当社工場内において、4tユニック車に積んだ単管パイプ（4m：40本）、金属製足場板20枚及び給湯器を降ろす作業を始めた。被災者がフォークリフトで足場板を吊り上げたとき、フォークリフトの爪が単管にふれて単管が斜めにずり落ちそうなり、被災者は単管に手を伸ばし止めようとして、単管と単管の隙間に左手を挟んだ。	64	222	7	～ 49	30
2017	4	15～	当社作業場にて（陶磁器ガラスゴミ置場）、包丁を踏んでしまい左	45	519	8	～	30

		16	足底部を負傷した。					49
2017	4	13～ 14	仕事場で剪定の作業中、剪定した枝を処分しやすくする為斧で短く切っている時に、強く腰を痛めてしまった。	23	522	19	1～ 9	
2017	4	16～ 17	資材置き場でワイヤを鉄箱に入れている時、近くで作業していた重機が鉄スクラップに接触し、鉄スクラップが落下した。それを避けようとして、地面に頭と肩を打ってしまった。	70	142	4	1～ 9	
2017	4	5～6	進行方向が青で左折時、ふくらみ過ぎて信号待ちの相手乗用車に接触した後、民家のブロック塀を突き破り、庭に進入した。	56	231	17	10 ～ 29	
2017	4	8～9	ゴミのコンテナを両手に3個ずつ（10ヶ位）持ってトラックへ運ぶ途中、道路の段差につまずき、右足首を酷く捻った。	22	418	3	500 ～ 999	
2017	4	13～ 14	現場敷地に入る階段設置において、2次製品の踏み台の立ち上げを切断中、切断器具がはずんで左手のひらを受傷した。	28	212	1	10 ～ 29	
2017	4	14～ 15	2人で4tフックロール車の着脱型荷台を降ろす作業時、相方がトラック荷台の床でシャーシーに片足を掛けシートを広げようとした際ローラー部に片足がかかり足を滑らせバランスをくずし下に落ちた。下にいた被災者が気がついて受け止めたとき、衝撃で手にしびれを感じ、その後もしびれが治まらなかった。	71	719	3	30 ～ 49	
2017	4	17～ 18	工場焼却施設で灰出し作業時に水蒸気爆発が発生し、灰出し機の表の扉が開き本人が熱風を浴び、熱傷（両手、顔面、両大腿）を負った。原因は、前日に搬入のあった鉛筆、カーボンを焼却処分したことによるものである。カーボン素材のものが炉内で高温に熱せられて炉床に溜まり、灰出し時に灰出し機の水槽に高温のカーボンが大量に落下し、水が急激に熱せられ水蒸気となり、爆発的に体積が上昇してしまった。	36	391	14	10 ～ 29	

2017	4	9~ 10	ゴミの集積BOX（3600×1910×1170）の上にかかっているシートを外すためにBOXの上に登り、シートを外す作業を行おうとした際に足を踏み外し転落し、右手を強くついた。	31	611	1	10 ~ 29
2017	4	7~8	工場内で最終残さラインへ移動する際、濡れている床面の上で転び、左足が滑って足首を骨折した。	47	417	2	10 ~ 29
2017	4	9~ 10	会社内のガレージで、トラックの上で製品の積み下ろし作業中、誤って荷台から転落し、右足の踵を負傷した。	67	221	1	1~ 9
2017	4	15~ 16	事業所内にて、リサイクルするため運ばれてきたパチンコ台をトラック荷台後部で1台ずつ検品作業中、同パチンコ台がバランスを崩して転倒し、咄嗟に身体を避けようとした際に誤って左手甲及び左側頭部に当たった。	33	612	6	50 ~ 99
2017	4	8~9	廃棄物を積んで処分場へ運ぶため自社トラックにて走行中に、右側車線のトレーラーが接近して来て、左にハンドルを切ったときに車が横転した。	22	231	17	1~ 9
2017	4	16~ 17	廃棄物の粗選別場で10tコンテナに積込作業を行っている時に、コンテナ上部の手動式飛散防止装置（コボレーン）を、トラックのリアバンパーに乗って開放しようとしていたところ、足元が不安定だったため、開いた反動で飛ばされ、左脇腹を強打した。	67	611	3	1~ 9
2017	4	11~ 12	集荷作業中、集荷した内臓脂（60-70kg）が入ったかごを順にパレットに乗せていた際、かごを持ち上げたところ腰部を負傷した。	56	611	19	1~ 9
2017	4	13~ 14	当社工場のゴム破碎処理施設で、ステージの上部から手前にゴムを引き寄せる為にステージに上がり、コンベア側に寄せた後に足を踏みかえステージから降りる際、コンベア付近に足を掛けた時に足が滑り転倒し、脇腹を強打し骨折した。	39	418	2	50 ~ 99
2017	4	11~	当社工場にて業務委託先に納品する紙おむつの段ボール箱を収納し、収納庫から外部へ出ようとした。収納庫に段差があるため、地	41	379	19	10 ~

		12	面にプラスチックパレット（高さ12cm）を置いていた。このパレットに右足をのせたところパレットが破け、右足をひねった。					29
2017	4	15～ 16	得意先で車輛の荷台に乗り材料を積み込みしていた。荷台へ前から積み込みをしていたが、まだ後方にスペースがあると考え、後退した際に荷台から落ちて負傷した。（後方確認不足）	49	221	1		1～ 9
2017	4	9～ 10	パッカー車の清掃作業中にパッカー車ゲート内に右手を入れたまま起動スイッチを入れてしまい、ドラムが廻り右手薬指を巻き込み負傷した。	47	221	7		10 ～ 29
2017	4	11～ 12	車庫にトラックを駐車し10トントラックから降りる時、取手より手を滑らして落下し、腰を強打した。	64	221	1		1～ 9
2017	4	14～ 15	工場へ空缶を運搬中、交差点で信号待ちの大型ダンプカーに追突し、軽トラック前方及び側面を損壊した。損壊したフロントガラス、ハンドル等で頭部顔面、胸部等強打した。	51	221	17		1～ 9
2017	4	14～ 15	ユニットのリビング内を歩行していた際、濡れていた床に足を滑らせ転倒し、臀部を強打した。痛みはあったが仕事を続けたところ我慢できなくなり、その後、椎間板ヘルニア・仙骨関節炎となった。	31	371	1		1～ 9
2017	5	13～ 14	廃プラスチック類破碎機作業中、破碎状況を見に下へ降りようと階段（3段式）の2段目に右足、1段目に左足を着いた瞬間に左足を滑らせ、右足を外側に捻った状態で転倒した。午前中の作業終了時に作業場が泥で汚れていたため水で流して清掃した際に靴底が濡れて、足を滑らせ転倒したと思われる。	49	413	2		30 ～ 49
2017	5	9～ 10	会社の敷地内の土置き場で鉄板を積込む作業をしていた時、鉄板と車両（ダンプ）の間に右足が挟まれた。	45	521	7		30 ～ 49
2017	5	9～ 10	被災者は、当社駐車場において、アームロール車（4t）荷台にシート掛けをした車に付属の梯子を使って降りていた際、一段目に右足が引っ掛かってしまい、膝から地面に落下してしまった。（高さ50	19	221	1		1～ 9

			cm、ヘルメットあり)				
2017	5	8～9	当日荷主先（被災地）にて10tトラックに廃石膏ボードを積み込み、荷台上でシート掛けの作業中、荷台後方でシートを引っ張り荷台のふちに足をかけていたところ、雨で足が滑り落下し（約3.2m）、全身を強打負傷したものである。	40	221	1	10 ～ 29
2017	5	17～ 18	残土搬出の業務中、残土捨場にて残土を降ろし、ダンプ後方の荷台の閉まり具合を見に行ったところ、荷台とアオリの間に小石が挟まっており、小石を外そうとして右手でアオリと荷台のロック受けをつかみ小石を外した時、同時にアオリが閉まり右手小指が挟まり骨折した。	52	221	7	50 ～ 99
2017	5	12～ 13	事業場敷地内において、業務用トラックの洗車作業中に、濡れていた荷台から足を滑らせて地面に転落し、股関節を骨折した。	39	221	1	10 ～ 29
2017	5	20～ 21	作業現場にトラックを停めるためトラックの後ろで後退を誘導中、縁石に接触する為に停止するよう声を発したが停止せず、トラックと縁石の間に左足を挟まれ、左足膝下を骨折した。	38	221	17	100 ～ 299
2017	5	14～ 15	顧客先において6tパッカー車で廃棄物（廃プラロール）を回収中、投入した廃棄物がホッパー内から飛び出して来たため、それを制止しようと右手を出したところ、右手をロールと回転板に挟まれてしまい、痛みと焦りで動揺してしまい、緊急停止装置を使わずに咄嗟に右手を引き抜いてしまった。	32	221	7	10 ～ 29
2017	5	9～ 10	鉄筋場で部品の加工をし、作業場所に戻る際急いでいた為バランスを崩し左足首を捻挫してしまった。	58	921	19	10 ～ 29
2017	5	13～ 14	当社廃棄物処理場において廃棄物を分別していた際、鋭利な刃物があったために左人差し指および中指を切ってしまった。	67	911	8	30 ～ 49

2017	5	18～ 19	不用品回収依頼先で、トラックに不用品を積み込むため、トラック内で作業をしていたところ、既にトラックの中に積んであったもののバランスが崩れ、上部に積まれていた50cm弱位の鉄の部品が安全靴の上に落下し、右足小指を負傷した。	45	521	4	30 ～ 49
2017	5	10～ 11	振動スクリーン（停止中）の点検・清掃をするためにボール（15kg）を両手に持って歩行中、躓いて転倒した。手袋はしていたが指先をスクリーンで強打し肉が裂けた。	47	417	2	10 ～ 29
2017	5	10～ 11	運搬先工場にて、運搬してきた廃棄物（生木）を下ろそうとアームロールの後ろ扉を開けた際、積んでいた生木が落下してきて、その下敷きになり負傷した。	42	611	5	10 ～ 29
2017	5	9～ 10	駐車場でトラックの荷台から降りようとした時に足を滑らせ荷台から転落し、左手をついた。	67	221	1	1～ 9
2017	5	19～ 20	ベルトコンベアに資材を投入作業中、異音がしたためコンベアを停止して、詰まったゴミを取り除こうとしたが取れなかった。諦めて、スイッチを入れて作業を再開したところゴミが自然に出て来たのでそのゴミを手で取ろうとしたとき、一瞬のうちに身体が持って行かれた。その際、非常停止ボタンを押せず、無理やり身体を引き抜いて損傷した。	54	121	7	100 ～ 299
2017	5	9～ 10	工場内で散水用スプリンクラーの水出しの為、散水コックへ向かう際、雨水排水用水路を跨ぐ時に足を捻った。	34	417	19	30 ～ 49
2017	5	13～ 14	荷下ろし先にて、大型車から木箱の荷物を下ろす作業中、木箱が後ろのアオリに引っ掛かってしまっていた為に、木箱を外そうと重機にて木箱を上げて、その間にアオリを開けようとした際にアオリが勢いよく開いてしまい、左手を挟んで薬指・小指・甲を強打した。	29	221	7	10 ～ 29
2017	5	14～ 15	現場でトラックへの積み込み作業をしている最中にボールが落ちて来た。落ちて来たボールで左薬指を挟んでしまい、骨にヒビが入ってしまった。	55	521	4	—

2017	5	22～ 23	第2工場焼却炉の灰送り出し用5m350mm幅コンベアのテールローラー部を、長さ約30cmのスクレーパーを右手に持ちしゃがんだ状態で清掃作業している時、誤ってローラーにスクレーパーを巻き込ませ、右手肘部分まで巻き込まれた。	30	224	7	30 ～ 49
2017	5	14～ 15	現場内でシバを拾っている時に、上からガラスが落ちてきて左手薬指を切断してしまった。	30	529	4	1～ 9
2017	5	14～ 15	工場内における荷物の引取り作業中、引取りの鉄板（300×500）をバツカン（引取り等）に移すために、フォークリフトを使用し、移し替えの作業を行っていた。その際にバツカンが車輪付きの為、バツカンが動かない様に右手でバツカンを掴んでいたところ、鉄板が滑ってきてバツカンと鉄板の間に右手の薬指・小指・中指が挟まれ骨折した。	27	521	7	50 ～ 99
2017	5	13～ 14	工場内の砂置場にて、ポンプを移動させようとした時に、砂と石が飛んで来て右目に当たった。砂と石がどうして飛んで来たかは不明である。	31	523	4	30 ～ 49
2017	5	7～8	事業所にて作業開始前に、作業服に着替中に落とし物をし、ベランダに出たところ、左足でガラス片を踏み負傷した。	20	529	8	100 ～ 299
2017	5	11～ 12	産廃処分場内にて場内片付け中、杭木を手で持ち上げようとしたが、持ち上がらずに手を放した際に左手中指を枕木と地面の間で挟んでしまった。	50	379	7	50 ～ 99
2017	6	7～8	高さのある180?の容器から、ごみを収集するため、台に上がり容器内に手を伸ばした際、台から足を踏み外してしまい、容器の縁に体がぶらさがる状態となり、肋骨付近を圧迫した。	26	391	3	100 ～ 299
2017	6	14～ 15	民家解体現場で、脱着式コンテナ庫に廃品を積み、飛散防止用シートを掛けようとコンテナ車の台座（50cm位）に上ったところ、雨が降っていたため足が滑り落下した。右足のつま先を地面に打ち、安	48	221	1	10 ～ 29

			全靴を履いていたため、右足指の基節骨を骨折した。				
2017	6	5～6	NH炉着火後、火が立ち上がって高温で安定するまで未燃ガス（黒煙）が発生するが、通常は誘引ファンが起動しているため、未燃ガスは滞留することなく誘引されバグフィルターで処理できるが、WO炉の前扉が全開だったため、本来誘引されるはずの未燃ガスがNH炉の二次燃焼室に滞留し、充満した際にNH炉で燻った火に引火し、大爆発が発生した。爆発によって緊急解放弁が破損し、エアーが漏れたため、対象従業員が状況を確認せずに緊急解放弁のエアー漏れを見に行った時に、2回目の爆発が起こり、爆発で開いた緊急解放弁のウエイト部分が対象従業員の右手に当たり負傷した。	50	341	14	10 ～ 29
2017	6	15～ 16	産業廃棄物中間処理施設の木くず破砕機排出口で、破砕後の木くずを受け取るフレコンバッグを取り外し、木くず受けを他の作業員が木箱に変更しようとしている時に、木箱が脇にあることに気付かず振り向き、痛めていた肘が木箱に接触したものである。	51	611	3	1～ 9
2017	6	11～ 12	破砕棟受け入れステージにて、ごみ選別作業時、不適物（粉砕機に入れられない物等）を除去する際に、炊飯器の大きい物を小型家電置き場に投げた時、右肩を痛めた。	69	611	19	30 ～ 49
2017	6	22～ 23	当社作業場で、産業廃棄物の上で廃棄物分別処理中、横から釘が左足の長靴に刺さり、貫通してかかとに刺さり、負傷した。	20	521	9	10 ～ 29
2017	6	10～ 11	収集場所に到着し、積み込みをして暫くした時に、右膝を捻った感じがし、その時は痛くはなかったが、家に帰ってから強い痛みがあり、病院に行った。ゴミをパッカー車に積み込もうとして、横に体重移動をした時に右膝を捻った。時間が経ってから痛みが酷くなった。	58	921	19	50 ～ 99
2017	6	8～9	水槽にホースを引っ掛けていたが、水槽内に入りホース近くに来た時、ホースが外れて左足人差し指に直撃し、骨折した。	44	379	4	50 ～ 99

2017	6	15～ 16	廃棄物回収先で、コンテナとフォークリフトのパレットを足場にして回収作業をしていたが、作業終了時にフォークリフトが移動した際、バランスを崩してしまい、当人が落下した。	37	222	1	50 ～ 99
2017	6	11～ 12	手選別エリアで搬送コンベアの異物除去作業中に、コンベアのローラーに右手を巻き込まれてしまい受傷した。	35	224	7	10 ～ 29
2017	6	15～ 16	弊社工場内において、車から荷物を降ろしている際、積荷が崩れて左胸部と脇腹に当たった。市販の湿布を貼り暫く様子を見たが、痛みが引かなかった。	41	611	4	30 ～ 49
2017	6	11～ 12	工場内で、ペットボトルのキャップを手作業にて取り外す作業をしていた。この業務に就いてから、同一の作業の繰り返しにより、両上肢に負担をかけ続けた結果、疼痛・痺れが出た。	49	921	90	100 ～ 299
2017	6	7～8	当社資源物処理センター内にて、回収してきたペットボトルをパッカー車から降ろす作業中、作業終了後にホッパー（後部扉）を閉じている途中で、ペットボトルが内部で引っ掛かっていたため一度停止させ、1人が荷台へ入ったが、ドライバー（開閉スイッチ担当）との意思疎通が上手くとれていなかったことによりホッパーが動き出し、体が挟まれて右脇腹を負傷してしまった。	42	221	7	—
2017	6	13～ 14	当社作業所において、長さ1m位の塩ビのパイプに十字に取り付けられているパイプを外す為、塩ビのパイプを足で踏み、十字に付いているパイプをハンマーで叩いたところ、外れたパイプが飛んで来て、右目瞼に当たり負傷した。	75	364	4	1～ 9
2017	6	16～ 17	第2工場で、ペットボトルを破砕する機械でベルトコンベアのローラーの部分にペットボトルが挟まってしまい、普段なら機械を止めて棒で取り除くのだが、挟まった部分が少しだけだった為、すぐに取り除けると思い、機械を止めないまま右手で引っ張ろうとしたところ、ローラーとベルトの間に右手から腕にかけて巻き込まれた。助けを求める声を聞いて、他の者が機械を止めた。	43	224	7	30 ～ 49

2017	6	14～ 15	会社の資材置場にて、トラックの荷台からコンクリートU字溝（長さ6mm）を手作業にて荷下ろし中、高さ1m位から落下し、被災者は右足甲を負傷した。	34	611	4	1～ 9
2017	6	14～ 15	機密書類溶接処理工場で溶かした書類の水分を切る作業中、スクリュープレスのメッシュフランジに穴が開いた為、穴から紙料がはみ出ているのを発見した。その際、素手で穴の大きさを確認しようとし、穴に吸い込まれる形で切断した。	29	169	7	10 ～ 29
2017	6	11～ 12	自社構内で廃棄物分割作業の休憩中、荷物に掛けていたシートに躓いて転んだ。	63	417	2	10 ～ 29
2017	6	10～ 11	丸い塩ビ管を切断する為、台の上に塩ビ管を載せて丸鋸で切断していた時、丸鋸が跳ね返り右大腿部を挫創した。	67	131	8	10 ～ 29
2017	6	15～ 16	維持管理を担当する事務所に所属する被災者は、災害当日、1号クレーンの点検及び給脂作業に従事していた。被災者がクレーンバケットに上がり作業を行っていたところ、フロア階に置いていた無線機に呼び出しを受けたため、クレーンバケットから立馬に乗りフロアに降りようとした時、立馬が滑り、それによりバランスを崩して立馬から落下し、右手首の骨折及び右第6肋骨にひびが入った。	57	371	1	50 ～ 99
2017	6	10～ 11	家庭用一般ごみの回収のため、パッカー車で市内巡回中、ごみをパッカー車へと投棄作業をしている際、体勢を崩して倒れそうになったので、咄嗟に右手を側溝の蓋（鉄製）の尖った一辺が浮き上がっていたところに着いてしまい負傷した。	15	418	2	30 ～ 49
2017	6	16～ 17	トラックの荷台を片付けている時、雨が降っていて、荷台から降りる時に誤って足を踏み外し、足首を負傷した。	68	221	1	50 ～ 99
			工場内で、石膏ボードを破碎する作業をしている時、石膏破碎機の				

2017	6	11~ 12	投入ホッパー直下のベルトコンベアの下に石膏粉がこぼれ、それをコンベア上に戻そうとしたところ、右手がベルトコンベアに巻き込まれた。巻き込まれた右手前腕をローラーから引き抜く時、右脇にも怪我を負った。	48	224	7	~ 29	10
2017	6	10~ 11	産廃回収作業の為、2Fの事務所より廃品を下ろしている最中に階段で左足をひねり、3段程下に落ちたところで足を踏ん張った為、その衝撃でくるぶし辺りを剥離骨折し、また腓骨上部も骨折した。	42	413	19	~ 49	30
2017	6	14~ 15	当社第一工場計量機付近で、廃品回収の雑誌などを降ろしている最中、トラックのコンテナからホイールローダーに移動している時、足を滑らせてホイールローダーのバケットの中に落下し、右手首がバケットの鉄角に接触して骨折した。	21	221	1	~ 49	30
2017	6	11~ 12	一般廃棄物処理施設へ不燃ごみを持ち込みしようとした軽自動車 が、プラットホーム横にある持ち込みごみ専用のダンピングボックスへ荷降ろしするため後進で寄せていた。この時、数メートル離れたプラットホーム入口扉横の壁際に立っていた被災者に、突如急加速してきた当該車両が衝突し、右足を負傷した。	43	231	6	~ 49	30
2017	6	9~ 10	本社工場内のテント倉庫内にて、圧縮梱包した製品の全面にラップを巻く作業終了後、製品を押し移動させようと力を入れた瞬間、腰部に痛みが走り動けなくなった。	57	611	19	~ 49	30
2017	6	14~ 15	会社倉庫内で、自動古畳切断機を使用して畳を切断中に、切断機では切れなかった糸等をカッターナイフで切っていたところ、切断機の刃を動かすための回転しているシャフトに指が巻き込まれた。	57	169	7	~ 299	100
2017	6	16~ 17	会社場内にて、10t車トラックに装備してあるグラップルのメンテナンス中に、雨上がりだったため足を滑らせ転倒してしまい、左手首から地面に落下し、骨折してしまった。	62	221	2	1~ 9	1~ 9
2017	7	16~17	場内において鉄塊を切断作業中誤って切断した鉄塊の一部（重さ約100kg）を高さ25~30cmから左足もとに落とし左足の指（第二趾~第四趾）を損傷したもの（当時安全靴は着用していた）。	24	521	4	1~ 9	1~ 9

2017	7	16~17	ごみ搬入者が忘れ物（車荷台シートカバー）を取りに来た時、置き場所のプラットホーム内、旧第1ゲート前に案内中に足を滑らせ転倒し、負傷した。	54	417	2	1~9
2017	7	8~9	馬運動場において曳き運動中（左側）、該馬が突然走り出し引きずられ、左肩部を負傷した。	42	231	17	30~49
2017	7	9~10	当社敷地内で、トラックの荷台（高さ1m）からパチンコ台（H80cm×W50cm×D15cm、30kg）を両手で抱えて下ろす作業をしていた。2、3台下ろしたところで腰に違和感が現れ、その後すぐ痛みが起き立ち上がる事が困難となった。	51	612	19	10~29
2017	7	14~15	当社施設内の廃棄物処理施設にて、横型スライドゲート（廃棄物を投入する際に開く鉄製の扉、1,000mm×1,500mm×30mm、重さ約150kg）の交換作業中2点でフックをかけてレバブロックで持ち上げ、交換した鉄板を下に置いた時、鉄板がうまくかみ合わなかったため現認者に右端を支えてもらいながら、鉄板がずれないように微調整していた際、四方の一角が外れたので足で鉄板を踏みながら、はめようとした時、下の鉄板が急に上がってしまい、上の鉄板と下の鉄板との間にはさまれる姿勢となり、腰部を圧迫される状態となり、負傷した。	38	521	7	50~99
2017	7	11~12	営業所へ当社、廃棄物中間処理場で使用する重機の修理点検が終了したため、回送車にて向かい、車に積み荷台上の重機より降りた際に機械の手摺につかまりそこないバランスを崩し、飛び降りてしまい負傷した。	67	221	1	30~49
2017	7	8~9	作業現場において、大型バキューム車積載の泥を泥ピットにおろすため、車体後方を泥ピット側面につけ、車体後方のバルブを開け足場に戻ったところ足を滑らせ泥ピットに落下しそうになったため右手で車体をつかもうとしたところつかみきれずに右肩を脱臼し、さらに泥ピットに落下してしまい、その際に左足踵を骨折したもの。	42	414	1	1~9

2017	7	16~17	工場内においてコンベアーの清掃作業を行う際に詰まったタイヤチップを除去しようとして手を出したところ左手の手袋が巻き込まれてしまいそうになり慌てて引っ込めようとしたが左手親指と付け根あたりを負傷してしまったものである。	45	224	7	30 ~ 49
2017	7	7~8	工場内の圧縮梱包機周辺で飛散した廃プラスチックのゴミをエアガンで清掃していたところ、機械の下に潜り込み機械の可動部まで進入してしまい、自動運転で動き出したフィルム梱包機の回転運動に被災者の頭部が挟まれてしまい負傷してしまった。	28	169	7	100 ~ 299
2017	7	10~11	清掃センター内で、荷おろし作業の際、中を確認したところ、まだ荷があったため、取ろうとしたところ、運転手が気付かず、テールゲートをおろしてしまい、挟まれ負傷した。	62	221	7	1~ 9
2017	7	13~14	構内で停車中、同僚にヘルメットを借用するため、車から降りる際、自車のサイドブレーキを引いていない事で車輛が前進し、制止するために前方停止車輛と自車の間に入り車輛を押さえたが自車に挟まれた。	50	231	7	10 ~ 29
2017	7	15~16	営業所内の宿舍脱衣所において、風呂の準備を行っていた。すのこを指定の場所へ置くためにすのこを持ち移動中、床が濡れていたこともあり、転倒。後頭部を強打したものである。	39	522	5	10 ~ 29
2017	7	21~22	当社工場にて大型トラックへ木材を載せた際、後方扉より一部の木材が出ていたため、木材を荷台へ押し込むため扉から登り、作業後降りる時に過ぎて手足を滑らせ、1m位の高さから落ち踵を負傷してしまった。	30	221	1	30 ~ 49
2017	7	9~10	工場1Fと2Fを接続する階段にて1Fの清掃作業に必要なバケツを降ろす際、被災者が両手に6個のバケツを持ち階段を降りバランスを崩したが、両手が塞がっていたため手すりを掴む事が出来ず転落に至った。階段を下りる際、必ず手すりを持つと言う安全教育が徹底されていなかった。	66	413	1	10 ~ 29

2017	7	16~17	高さ1m位の場所から後ろ向きに転倒して、下にあった鉄板の上に落下し、頭部及び腰部を強打したもの。	46	379	1	1~9
2017	7	17~18	当社のリサイクル事業場において、タイヤショベルのエッジを反転するため、ボルト取り外し作業中、ボルトが折れ、重さ10kgのエッジが高さ約50cmより右足甲に落下し負傷したものである。	63	141	4	10~29
2017	7	9~10	当社工場内で、1個20kg近くあるサーバーを2個同時にパレットから作業台へ移す際に、フックに指を挟んだまま台へ下したところ。右手薬指だけに重量がかかり骨折した。	65	391	7	10~29
2017	7	9~10	当社工場内において廃タイヤからワイヤーを抜き取る作業途中で切れたワイヤーを引っばった反動で、反対側の切れた部分が弾けて、顔の右側に当たりワイヤーの一部が右眼の中に入った。	42	521	6	10~29
2017	7	9~10	各ご家庭から出された可燃ごみ回収のため、ごみ収集車で巡回し回収作業をしていた。ごみステーションでごみ袋を収集車に投入していたところ、手袋が落ちてしまい、それを取ろうと右手を伸ばしたところ巻き込み板に手首を挟まれてしまい負傷した。	52	221	7	50~99
2017	7	11~12	産業廃棄物を荷台に積み込みをしていた際、荷台がいっぱいになり荷台の後ろから飛び降り地面に着地した。この時、左足首を負傷した。	72	417	3	1~9
2017	7	14~15	倉庫内で非鉄と鉄を分別する作業中に、ダブリングで非鉄が回転したため、押さえた時に挟まれて負傷した。	67	156	7	1~9
2017	7	12~13	作業場内にて（相手方）が重機操作で廃棄物をフレコン袋に詰め込む作業をしている時（被災者）はフレコン袋から廃棄物のはみ出ているのに気づき、左手でフレコン袋の中へ押し込んでいた。（相手方）は（被災者）の作業がフレコン袋に詰まった廃棄物が死角になり見えず、十分に確認をしなかったためそのまま重機の爪をフレコン袋に差し込み（被災者）の左手を挟んでしまった。	47	142	7	10~29
			廃棄物焼却施設内の供給コンベア上の投入ゴミが大きく絡まり、搬				

2017	7	22~23	送されなくなりゴミを外部へ掻き出す作業を行った。作業終了後、左ひざに若干の違和感があり、その後左ひざを曲げると強い痛みに変わっていた。左ひざ内側側副じん帯捻挫と診断され、3週間左足を安静にする様医師から指示を受けた。	49	921	19	10 ~ 29
2017	7	11~12	4tトラックに、荷物を積み終わって、シートをする時、左側後ろのあおりに乗って左から右に移動中、右足を滑らせて、転倒した。	33	221	2	30 ~ 49
2017	7	7~8	弊社リサイクルセンターコンビ第2工場にて、コンテナ内の古紙取り出し作業中に負傷す。コンテナ内一杯に積み込まれた古紙・段ボールを手作業にて取り出す作業において、他の古紙と絡み合っていた段ボールを取り出すために、段ボールの角付近を手に持ち、力いっぱい引き出そうとしたところ、誤って手が滑り、その反動で後方にひっくり返り、コンクリートの床で頭部と左肩を強打し負傷す。	41	911	19	1~ 9
2017	7	6~7	工場の機械修理のため、機械の上へはしごを使って上がろうとした時、はしごの下にフレコン袋3個が積んであり、その上に登ろうとし、足を滑らせ左足膝を損傷した。	55	611	1	1~ 9
2017	7	15~16	4階女子休憩室内の浴室脱衣場で、天井の蛍光灯が切れていたため、交換しようとして、その近くの脱衣棚に上ろうとしたが、足を滑らせてしまい棚から転落し、その際床に左手をつき、その後、手首が痛みとともに腫れてきた。当日は、左手首に湿布を施し様子をみたが、腫れと痛みが取れなかった。骨折していた。	55	391	1	30 ~ 49
2017	7	13~14	工場敷地内で回収済みのペットボトルの積み下し作業中、荷台の荷物を下ろすためトラックの荷台に上がろうとした際足場になっていたビールケースが滑ってバランスを崩して転落、背中を強打した。当日は雨が降っており滑りやすい状況だった。	61	371	1	50 ~ 99
2017	7	9~10	重機で選別作業を行っていた作業員が回転時に重機のツメ部分をコンクリートブロック6段（高さ3m）に接触させてしまい、上から2個のブロック（1つ：高さ50cm、1m四方）が落下した。近くで選別	40	529	4	100 ~

			作業を行っていた被災者にそのブロックが当たり、怪我を負った。				299
2017	7	13~14	5号車で収集業務中、信号の無い交差点で車と衝突し、首を痛めた。	45	221	17	30 ~ 49
2017	7	11~12	依頼主の引っ越しゴミ処分のため、屋内にて食器棚等を移動させていた際、食器棚のガラス戸（30cm×30cm・約5kgのガラス板）を2枚合わせて持ったところ、その1枚が足に落ちて刺さった。	43	529	4	10 ~ 29
2017	7	11~12	分別台の上で洗面台の鏡を外し、下にある産廃BOXに割って入れようとしたところ、割れた鏡の破片が左目にあたり、眼球を傷付けた。	51	529	4	10 ~ 29
2017	7	11~12	整備工場内でミキサー車ドラム内のコンクリートの斫り作業中に、点検口（直径43cm）からドラム外へ出て下りる際に、高さ35cmの木製の踏み台へ右足を乗せたところバランスを崩して転倒した。転倒時に右手を地面につき骨折した。	36	371	2	30 ~ 49
2017	7	14~15	コンテナ交換作業時、コンテナを被っていた網の上にブロックがのせてあった。ブロックに気付かず、コンテナの足元に絡まっていたのを外そうと網を引っ張った際、ブロックが落下し、左人差し指に直撃し骨折した。	26	529	4	30 ~ 49
2017	7	13~14	紙選別ラインにて残土物が入ったコンテナを持ち、残土投入場へ運ぶために3段階の1段目に足をかけた時足元が滑り階段を踏み外した際に足をひねり、体重が載ってしまったことで骨折した。	31	413	19	50 ~ 99
2017	7	11~12	自社敷地内置場にてヒアブを操作する為運転席に登る際、正しい順番で登らなければならない所を登らず誤って足をすべらせて落下した。トラックの鋭角な部分で右足を捉り12針縫った。	38	221	1	30 ~ 49
			材料の木くずをホッパー機に投入し、ホッパー高さ3.23m内の材料の状況を確認するため脚立（高さ2m）に昇ってホッパー内を目視し確認した所、バランスを崩し脚立がグラつき倒れそうになったので				50

2017	7	6～7	脚立から飛び降りたが、下が鉄板だったこともあり、右足をひねり、腰を強打した。腰椎圧迫骨折、右踵骨骨折と判明し右踵を手術することとなった。	55	371	1	～ 99
2017	7	14～ 15	工場敷地とガラスサンド置場の間に側溝があり、それを渡る際に足を掛け、足を滑らせて左足爪先を内側にこじらせ左足薬指を骨折した。ガラスサンド置場には一時的に置いた有価物を取りに行くためだった。その日は応急手当をして、次の日に病院に行つて骨折が判明した。	67	417	2	～ 29
2017	7	13～ 14	乗って来た大型車の運転席から地上へ降りた際に、いびつに着地したせいで左足首を捻挫した。	37	221	19	～ 299
2017	7	17～ 18	No.2投入コンベア荷卸スペースにて、10tアームロール車から梱包物の荷卸しを行う作業中、荷降ろしを行うため、左後方部で後方扉を開放した後、トラック前方に向かうとき、荷が落ちてこないだろうと思い、安全にトラック前方から回り込むのではなく、横着してトラック後方を通行した。真後ろの上部を見ずに移動したところ、積み荷の圧縮梱包物が不意に左足甲に落下した。	43	611	4	～ 29
2017	7	10～ 11	車両から降りた際、足元の段差プレートに足を滑らせ転倒したところ、運転手が気づかずに車両を前進したため、タイヤが助手の右足に乗り上げて負傷した。	29	221	2	～ 299
2017	7	10～ 11	剪定枝を車両に入れる作業中に、車両から飛び出した剪定枝の束が左手第4指に当たり、その勢いで投入口の鉄製の部分に挟み、負傷した。	35	522	7	～ 299
2017	7	15～ 16	中間処分場にてタンク車を洗車中、安全帯は装着していたが、フックを付け忘れて落下し、両側踵骨骨折、右腓骨骨折をした。	47	221	1	1～ 9
2017	7	14～ 15	当社中間処理施設のプラント構内を歩行中、置いてあったアスファルトガラに気付かずに躓き、右足を負傷したものである。	46	523	2	～ 30

2017	7	10～ 11	インター店内駐車場で、トラックの運転席から降りる際、着地に失敗して左足首を捻り、捻挫を負った。	30	221	19	～ 49
2017	7	10～ 11	荷下ろし車両待機場で車両を停車させ、車両の右前でコンテナシートを畳んでいたとき、ホイールローダーが積込みに向かう途中に、被災者の車両横に停車し、シートを畳み終わるのを待っていた。シートを畳み終えた被災者が立ち上がったときに、ホイールローダーのバケットが背中に当たり、転倒した。	53	225	3	～ 99
2017	7	12～ 13	当社作業場において、トラックの荷台から廃棄物の入ったフレコンバックをユンボでつかんで降ろす作業中、フレコンバックのフックをユンボに掛けようと荷台に上がっていたところ、誤って足を踏み外し、トラックの荷台より体の右側から落ち、右腕を受傷した。	65	221	1	1～ 9
2017	7	11～ 12	自車最終処分場でガレキの荷下ろしをしていた際、ダンプの後部扉を開けたときに、中のガラが左足の上に落下した。	45	523	4	30 ～ 49
2017	7	9～ 10	被災者が、会社の場内において、重機（マグネット機械）を整備していた際、近くで同僚の従業員が散水車（4t）に水を入れていた。その際、散水車の停止場所が少し下り坂になっていたためか、水の重みで自然と車がバックをし始めた。同僚従業員は慌ててブレーキを踏んだが、エアブレーキのためか直ぐにはブレーキが効かず、被災者が重機と散水車の間に挟まれ負傷した。	59	221	7	10 ～ 29
2017	7	9～ 10	産業廃棄物の処理を行っていた際、廃棄物である石灰が、誤って両腕に触れて、両腕に火傷を負った。	34	514	12	1～ 9
2017	7	8～9	ペットボトル置き場周辺を清掃中、場内で清掃車（4t）を運転手が移動させた際、右フロント後ろにあった歯止めを回収しておらず、右リアタイヤが歯止めを轢き、作業員の左膝・右膝・右肘の順番で接触し、打撲した。	56	221	6	50 ～ 99
			客先にて、廃棄物をコンテナ内に手積みで積んでいた際に、板ガ				50

2017	7	16～ 17	ラスがあったので割れたりすると危険だと思い、安全策としてプラスチック容器に入れて、コンテナ左後方に置いて作業をしていたところ、左に振り向いた際に板ガラスに接触し切創した。	43	529	8	～ 99
2017	7	16～ 17	車両置き場に自社トラックで引き取った車両の荷下ろしに行ったあと、車両置き場内にて商品の確認作業をしようとしていたところ、当該トラックから荷下ろし作業を行っていたフォークリフトがバックしてくる際に接触し、負傷した。	74	222	6	10 ～ 29
2017	7	9～ 10	自社工場内で、移動のため重機（0.1?ミニユンボ）を操作中、重機から降りる際にキャタピラから排土板へ移ろうとして不注意で足を滑らせた。排土板の隙間に右足が入り、バランスを崩して地面に倒れ込み、右足を捻った。	47	142	1	10 ～ 29
2017	7	13～ 14	場内で選別作業中、バックしてきたリフトに気づかず、右足を轆かれた。	63	222	7	30 ～ 49
2017	7	14～ 15	敷地内において、被災労働者が袋詰めされたものを動かすときに、別の労働者が、合図を確認せずにユンボを動かし、右手示指を挟んで負傷した。	65	149	7	1～ 9
2017	7	16～ 17	海岸で、船から排出される廃油を船底にホースを下ろし抜き取る作業を行った。作業終了後に車に使用済のホースを巻いたあと、汗で濡れた作業服を着替えようとしたが、既に全身に力が入らず、こわばりと震えが来たため、一緒に作業をしていた作業員が救急車の手配をし、病院に搬送され、熱中症と診断された。	49	715	11	30 ～ 49
2017	7	11～ 12	場内でユニックの荷台からコンテナを下ろす作業中に、コンテナにフックを掛けて荷台から下りるとき、足が引っ掛かり落ちた。	65	221	1	10 ～ 29
2017	9	13～ 14	鉄工場で鉄を切る機械（足で踏む）を使い鉄を右手で持って切っている時に、破片が目に飛んできて右目を負傷した。	30	159	4	10 ～ 29

2017	9	15～ 16	浴室清掃の最中に洗濯物が気になり、洗濯室へ向かい、洗濯機（排水の高さ調整の為地面より20cm高い位置に5台設置）の前にある踏み台（幅50cm高さ25cm長さ3.9m）に足を乗せたところ、十分に足が乗りきらず、高さ25cmの踏み台から踏み外し、右足を地面へ勢いよく着地した。その勢いで転倒したが、痛いところは右足ふくらはぎだけで、思ったほど痛くなかったため、そのまま洗濯作業他を行い仕事を終わらせた。翌日、右足ふくらはぎが、昨日より痛かったので、受診した。	66	371	1	100 ～ 299
2017	9	9～ 10	ごみ集積所で、可燃ごみの積込を行うため、集積小屋の木製の敷居に左足をかけ中に入ろうとしたとき、その左足が滑って転倒しそうになり、転倒を避けるため左足で自分の全体重を支えたところ、左足付け根に激痛があったが、作業を再開した。	49	418	19	10 ～ 29
2017	9	16～ 17	被災者が、大型貨物自動車を運転し、国道を走行中、緩い右カーブにおいて、降雨により湿潤した路面にタイヤがスリップし、反対車線にはみ出しそうになり、左に急ハンドルを切ったところ、制御不能に陥り、そのままガードレールを破り、路外逸脱したものである。	30	221	17	1～ 9
2017	9	16～ 17	1系焼却炉内において、焼却炉停止時の炉内清掃作業にて、ばいじんの堆積物除去作業をしているとき、煙道壁に堆積したばいじんの塊が落下し、作業員の背中に直撃した。肋骨、骨盤等の骨折、骨折により肺を損傷および倒れ込んだ際に火傷を負った。	34	529	4	30 ～ 49
2017	9	11～ 12	集積車の排出板に付着したゴミを竹ぼうきで清掃していたところ、集積車の運転手がその作業に気づかずにゲートを下す操作をしてしまい、右腕が挟まってしまい負傷した。	54	229	7	100 ～ 299
2017	9	8～9	安全帯の設置場所で梯子の高い位置に巻かれていた安全帯ロープを外すために、梯子に登ってロープを外し、梯子を下りようとした時に足を滑らせて梯子から落下し、その際梯子の下に設置してあった小型コンテナの縁に右足膝下部を強打し複数箇所骨折した。	40	371	1	30 ～ 49

2017	9	12～ 13	当社中間処理場において収集した廃棄物を降ろす為にトラックから降りる際、右足がゴミの上に着地したので滑ってしまい、右足を外側へ挫いて骨折した。	33	221	2	50 ～ 99
2017	9	18～ 19	作業終了後、帰宅する為、荷物（ヘルメット）をロッカーにしまいに行く際に転倒し肩を骨折した。	43	921	2	30 ～ 49
2017	9	15～ 16	工場内再生破砕プラントで、ベルトコンベア取り付けウエイトプーリに泥付着取り除くため、ケレン棒使用していたところ、棒の先端が反動で左手中指に当たり負傷した。	53	224	6	1～ 9
2017	9	16～ 17	公民館の所で、可燃粗大の収集をしている際、気付かずにガラス片を右手の甲にさしてしまった。その際、手袋は装着していたが、手袋ごとささってしまった。止血の為、作業を終了し、帰社して、消毒を行い帰宅した。	37	529	8	10 ～ 29
2017	9	13～ 14	当社中間処分場に於いて収集してきたアルミ缶をコンテナ用収集箱から取り出す為コンテナの後ろドアを開き、下にある止めドアの片方を外し、反対側も外したとき、足元に落ちてくるので、気にはしていたが他に気劣られていたときに右足に落ち右足人差し指先端を骨折負傷した。	67	521	4	10 ～ 29
2017	9	11～ 12	当社敷地内において数名で樹木・雑草の清掃作業中に、同僚（M氏）がエンジン付草刈り機を使用して雑草の刈り取り作業をしている際、近くで後ろ向きで樹木の枝下ろし作業をしていた当人に気付かず、草刈り機の刃部分が当人の左足ふくらはぎ部分に当たり受傷したものである。	35	169	8	50 ～ 99
2017	9	8～9	鉄くず運搬、荷おろし中コンテナの観音開きを開いた時に鉄辺が落下し、ヘルメット着用を忘れていたため前頭部に接触し負傷した。	49	521	6	1～ 9
		15～	当社工場にて、ペットボトルの選別作業中パレットの準備作業をしていたところ、同僚の運転するフォークリフトが圧縮したペットボ				1～

2017	9	16	トルを積んだパレットを2段に重ねようと荷を上げ前進しつつ右へ旋回したところ、誤ってフォークリフト左後方にいた被災者の左足を轢いてしまい負傷した。	56	222	7	9
2017	9	16～17	現場でバッカン入れ替え作業中、ユニック車荷台へバッカンを設置し、ワイヤーロープのフックを外している時、手がすべり2mぐらいの高さから転落し、アウトリーガーの取手部分に尾てい骨を強打し地面におちた。	63	221	1	1～9
2017	9	13～14	お客先現場において、自動ドアで使用するガラス板を車両に積み込む作業を行っていた、被災者は荷台の上におり、ガラス板の引き上げを行っていたが、中腰で引き上げた際に腰に痛みを感じて作業を一時中断した。その後、当日は軽い荷物を運ぶようにして終えたが、その後も作業時に痛みや痺れが出るようになったが、本人が我慢できる程度のものであったので、医療機関での受診をしていなかった、ところが、後日作業中、荷物を運ぶことが困難になるほど痛みが強くなり、翌日以降の作業が不可能と判断、管理者の指示で医療機関で診察を受けたところ、腰椎椎間板ヘルニアで1ヶ月の静養が必要との診断を受けた。	38	611	19	100～299
2017	9	8～9	工場内に於いて、シャーリングで切断作業をしている時、機械を止めたつもりが、止まっていないのに不注意で手を入れてしまった。	36	156	7	1～9
2017	9	13～14	当社構内の屋内処分場にて、二重ガラスサッシを地図に置き、しゃがみ込んだ姿勢で、右手にゴム手袋をした上でハンマーを持ち、ガラスの破碎作業を行っていた、サッシの右端のガラスを破碎する際、力を込めハンマーを振り降ろしたところ、ガラスを割った勢いが止まらず、サッシに残っていたガラス破片に右手中指が当たり裂傷を負ったものである。	56	529	8	10～29
2017	9	9～10	取引先で停車中にパワーゲートで荷物を積んで入れる作業をしていた、荷台が水に濡れていた為トラックのパワーゲート作業台より滑って左足をついてしまい、左かかとを骨折した。	55	221	1	1～9

2017	10	17～ 18	<p>自社工場内で修理済のベルコンを設置するため4tユニックを使い、ベルコンを台に載せる作業をしていたが、このベルコンを吊っている吊りベルトが切れ台が落下してしまった。その際にベルコンに当たり、台は倒れて足が挟まれ両足首を骨折してしまった。本来であれば荷重に耐えられるかを確認すべきであったが、確認不足のため事故が発生してしまった。</p>	39	372	4	30 ～ 49
2017	10	15～ 16	<p>建設業者の倉庫で、当社貸付用鉄製カゴの交換回収業務のため、ユニック付8tトラックを市道に駐車し、ごみの入ったカゴをユニックで荷台に下し、留め具を外そうと荷台あおり上部に上がり、左手でカゴ嵩上げに使用されていた板を掴んだところ、突然板がカゴの境目で折れ転落し、肋骨第3～5、3本骨折、全身打撲、擦過傷等負傷した。転落状況はあおり（90cm）から一旦荷台中央のあおり鉄製支柱に臀部から落下、そのまま脇の下付近（右肋骨）を強打し、荷台下の地面（荷台高さ1m）に後ろ向きのまま頭部から落ち全身を強く打ったもの。なお作業中はヘルメットを着用していたため頭部の異常は認められなかった。</p>	45	221	1	10 ～ 29
2017	10	7～8	<p>一般ごみを収集するため、ビルの駐車場の奥にあるごみ置場まで走った際、駐車場入口付近にしてあったチェーンを飛び越えようとしたが、誤ってチェーンに足を引っかけて転倒してしまい、地面に顔面を強打したため、あごに切り傷とあごの骨を折った。</p>	25	419	3	100 ～ 299
2017	10	14～ 15	<p>交差点において青信号に変わった為、車を直進させたところ、右からの信号無視車両に追突された。</p>	30	231	17	10 ～ 29
2017	10	9～ 10	<p>ユニック車の荷台に2段に積んだフレコンバックの2段目が傾いていたので、それを直そうとした時に、荷台にはフレコンバックがいくつもあったため、荷台の端で調整していたらバランスを崩し、荷台から転落し負傷した。</p>	73	212	1	50 ～ 99
			<p>会社敷地内で、アルミ缶・スチール缶の選別、プレス作業後に片づ</p>				

2017	10	16～ 17	けをしている際に、足を滑らせ転倒してしまい、とっさに左手をついた。その時はあまり痛みもなかったのですが、翌日は通常業務をしていたが、痛みと腫れがひどくなった。	50	417	2	10 ～ 29
2017	10	8～9	出社しタイムカードを押してリフトの鍵を持ち、外へ出ようとした時に、事務所の外の段差につまずき身体のバランスを崩した際、左足を捻り右足等を負傷したもの。	50	419	2	1～ 9
2017	10	9～ 10	40フィートの海上コンテナよりフレコンバックデバン作業中に40フィートと8m3の間に足が挟まり負傷した。	38	611	7	30 ～ 49
2017	10	8～9	幼稚園の前の道路のゴミ集積場所にて、ゴミ袋をいくつか持ち運ぶ際に、1つ落ちてそのゴミを踏んで転倒した。左膝を道路に打った。	68	611	2	1～ 9
2017	10	11～ 12	取引先のゴミを持ち上げる際に腰を痛めてしまった。	34	911	19	—
2017	10	6～7	トラックの駐車場でコンテナを交換したあと、シートを取ろうとして角材につまずき前のめりになり左足の膝を負傷した。	52	416	2	10 ～ 29
2017	10	14～ 15	工場内にて、産業廃棄物の仕分け作業中に、パイプにつまずいて転んで、右手首をついて骨折してしまった。	70	521	2	1～ 9
2017	10	16～ 17	搬入作業後、コンテナを閉める際、コンテナの取っ手に右中指が引っ掛かり、捻った感じで骨折した。	35	611	7	50 ～ 99
2017	10	10～ 11	粗大ゴミの収集業務中、運搬車両の荷箱内の積み直し作業（整理）を行っていた。その際、収集物の山の中に別の収集物（自転車）を投げ入れたところ、投げた先に鉄製のアングルがあり、シーソーのように跳ね上がって右脇腹を直撃して負傷した。	46	521	4	10 ～ 29
			本社工場の建屋内で、ばらけている産廃をひとりが板を用いて人力				

2017	10	14～ 15	<p>でまとめ、それをもうひとりがホイルローダーで別場所へ移動させる。これを交互に行う作業中に発生。被災労働者が人力で産廃をまとめる作業タイミングと、ホイルローダー搭乗者が産廃を移動させるタイミングが重なった。被災労働者は産廃だけに意識がいき視野が狭くなりホイルローダーの接近に気づかなかった。ホイルローダー搭乗者はバケット（ショベル）で被災労働者の姿がちょうど隠れていた。そのため運転席からは、被災労働者が見えなかった。そして、ホイルローダーバケット先端部が被災労働者の右腕に接触した。</p>	34	141	6	30 ～ 49
2017	10	13～ 14	<p>給油所にて分離槽清掃中、グレーチング10m分の長さの溝を清掃するため、グレーチングを右手で持ち上げて左へスライドさせた時、指がグレーチングの溝に入ったまま右手薬指を挟んで、右手薬指先端を骨折した。</p>	52	418	7	10 ～ 29
2017	10	9～ 10	<p>建設現場の廃棄物を自社のトラックの荷台に積み込んで、開いている状態の荷台の扉に引っかかっている木材を荷台に押し込んでいたところ、扉が閉まって頭部が挟まれた。ドアキャッチは取り付けていたが、扉の位置の固定が不十分だった。</p>	67	221	7	1～ 9
2017	10	10～ 11	<p>荷物を下ろすため、車を誘導中、誤って右足を道路の側溝に落とし、バランスを崩し、骨折したものである。</p>	57	417	2	30 ～ 49
2017	10	14～ 15	<p>弊社内で、破碎機投入コンベアーのゴムの部分がめくれていたため、カッターでめくれた部分を切り取っている時に手元が滑り、左ふくらはぎを切った。出血していた。</p>	46	364	8	50 ～ 99
2017	10	11～ 12	<p>縦型発酵槽脱臭ライン排管確認後、脱臭槽（約1.8m）から降りる際、足が滑り転落。右腕を骨折した。</p>	39	418	1	50 ～ 99
		9～	<p>スクラップヤードにおいてクレーンブーム切断時、内部に油圧シリンダ（ジャッキ）が出て、油圧シリンダをパイプと間違えて切断し</p>				1～

2017	10	10	た時、内部に油が残っていたのを知らずに切断したため油に火がついて顔に当たり火傷した。	41	331	11	9
2017	10	10～ 11	重機メンテナンス終了時工具箱を左手に持ったまま走行用ベルトの上から飛び降りたところ、ぬかるみに着地しバランスを崩し負傷した。	53	417	3	1～ 9
2017	10	16～ 17	(産廃の事業の一環) 高速カッターで塩ビ管(ビニール製・直径5cm)を1m位にカット作業中、左後ろに置いてある、カットしていない塩ビ管を取ろうと左後ろの方に体を傾けた時、カッターの刃に右膝が当たり負傷。手動(ハンドルの下にON、OFFのスイッチがあり押しすとON(稼働)、放すとOFF)のスイッチから手を放したが回転は直ぐには止まらないため、止まりかけの回転中の刃に当たる。	39	159	8	1～ 9
2017	11	14～ 15	フレキシブルコンテナバッグ(大型布製バッグ以下フレコン)に空瓶を入れる為にフレコンを開いている作業中、開いたフレコンの紐に足が引っ掛かり転倒した。その際に左腕、肘を強打した。	32	611	2	10 ～ 29
2017	11	10～ 11	ゴミカゴの産廃回収のため荷台(4tトラック)から降りる時、雨も降っていたため、滑り易くなっているところに、足を滑らせて落下し、柵の所に股間を強打した。そのまま、救急車で病院に運ばれ、入院することとなった。その後、尿道に管を通したまま退院したが、自宅療養で通院し、後日、経過を見て管を外す手術をする予定である。	40	221	1	30 ～ 49
2017	11	16～ 17	工場廃棄物置場にて、回収してきた廃タイヤをトラック荷台から転がして下ろす作業中に、下ろすタイヤと一緒に荷台から落下してしまった。その際、頭部は手をついてかばい無傷だったが、左足を捻ってしまい靭帯を損傷した。当日は様子を見ていたが翌日腫れたため日曜の休日診療を受診した。当番医が外科で専門外だったため改めて翌日整形外科を受診した。	26	221	1	1～ 9
		12～	町道で、当社の作業員が車両横転し積んでいたコンクリート殻が道				10

2017	11	13	路に散乱した。その片付け作業中にコンクリート殻に右薬指を挟み負傷した。	34	529	7	～ 29
2017	11	15～ 16	休憩に入る時、機械の装置ベルトコンベヤーの電源を全部OFFにしていた。被災者が休憩中、ベルトコンベヤーのスイッチをONにし、一人で作業していた。通常は1mの長さのヘラでベルトコンベヤーの軸に付いた、アスファルトの粉を取り除くのに対し、木のコッパで掃除をし、手袋がベルトコンベヤーに巻き込まれ、腕が挟まれた。	54	224	7	1～ 9
2017	11	9～ 10	ペットボトル処理施設内で、和式トイレで私用事が終わり、作業服（つなぎ）を着ようと左腕を通した際、バランスを崩し、便器の中に左手をついた瞬間、ツルっと手が滑り転倒し、左膝を便器の縁に強打した。	36	419	2	100 ～ 299
2017	11	15～ 16	トラック積荷の荷卸し中、荷台上でフォークリフトオペレーターの誘導を行っていた。トラック左側より荷卸しをしており、荷台右側に積載してある製品を左側より取り卸し出来るよう左側へずらそうとした。製品金枠の下部を両手で掴み引っ張ろうとしたが、掴み損ねてしまい、勢い余って2～3歩後ずさり、左足をつこうとしたところ荷台を踏み外し、転がるように落下した。その際に左手の平をついた為、左橈骨が骨折し、その後肘をついた為、打撲した。	71	221	7	10 ～ 29
2017	11	17～ 18	局内小包エリアにて翌日持ち出し分の荷物を準備する為、荷物を持ち上げ移動しようとしたところ、右肩を脱臼した。仕事終了後、病院を受診した。全治3週間と診断されたが、デスクワーク等の軽作業であれば就業可能である。	44	522	5	30 ～ 49
2017	11	13～ 14	園児が片付けをし帰る為、保育室出入口で待っている時、1人の子の忘れ物が机にあることに気付いたので知らせる為、駆け寄ろうと右足を一步踏み出した。そこへ向かってくる子と当たりそうになったのを避けた際、右足つま先が床に引っ掛かり左前方へ転倒し負傷したものである。	54	142	2	50 ～ 99

2017	11	16~ 17	倉庫2階U字型コンベヤ奥に商品が停滞しており、商品を送り出す為にコンベヤ縁に左足をかけて跨いだ。その際、内側のケーブルボックス上に右足で着地し、内側に捻り転倒した。	50	391	1	~ 499	300
2017	11	15~ 16	立体駐車場2・3号機管理ボックスで待機中、利用者が来たため外に出る際出入口扉の沓摺と床の段差に躓き転倒し受傷した。	38	611	3	—	
2017	11	9~ 10	車載コンテナを車に吊り上げる前に、コンテナの上にあがりネットを広げてかぶせ、降りる際に足を踏み外して落ち、膝をぶつけて負傷した。	37	221	1	~ 29	10
2017	11	11~ 12	焼却施設のメンテナンス（排気風洞内部の清掃作業）作業を行おうとして風洞入口から後ろ向き状態で足から進入したが、風洞内部の入口左手にある足場が分からず、そのまま落下し背中を打ち背骨を骨折した。このメンテナンス作業は、新規入場者を伴う場合は、2人組で行うものだったが、風洞内部の構造や作業手順について安全衛生教育が完了する前に、労働者の勘違いから作業を単独で開始していた。	44	418	1	~ 29	10
2017	11	9~ 10	コンテナ置き場にて、発泡スチロールの積み込みの為トラックの後ろに脚立を足場にするため置いて上り降りしながら作業していたが、脚立を降りる途中でバランスを崩し転倒した。足を伸ばして使用するタイプの脚立で、伸ばした際に不安定であった。胸を圧迫して強打したため第6肋骨1本骨折。目じりを切り出血した。	60	371	1	~ 29	10
2017	11	13~ 14	廃棄物の処分場で、移動式クレーン車でフレコンに入った木屑を車両の右側に荷降し中、作業員より車両の後方左側へ降ろすよう指示を受け、クレーンで吊っていた荷を見ないまま右旋回操作を行い移動させた際に、吊り荷が自身の背中に当たり吊り荷と車両の間に体と右腕を押され挟まれた。	43	212	7	~ 299	100
2017	11	13~ 14	当社、作業所内にて、作業終了後の床の掃除で廃置の積み上げてある（高さ2.5m位）側で掃いている時廃置が崩れてきて、左足に当たり負傷した。	34	611	5	~ 29	10

2017	11	8～9	路上において、廃棄物回収車にペットボトルを回収作業中、後方より進行してきた乗用車にはねられ受傷し、救急車で搬送されたものである。	71	231	17	～ 29
2017	11	10～ 11	積み込み終了後、荷台のシートを掛ける際、バケット縁に乗り、シートを引こうとしたため滑りバケットの縁に左脛を打った。	46	391	3	～ 29
2017	11	17～ 18	本社第一工場にてバックホー（重機）より降車する際に、キャタピラに足を置いた後、ステップの間に荷物があったため、ステップを使わず地面に飛び降りたところ、段差があり足を捻って負傷したものである。	36	416	3	～ 99
2017	11	17～ 18	仕分け作業場で仕分け在庫の確認の話をしようとグラップルで鉄板を挟んだユンボに近付き、会話中に鉄板の前が滑り落ち後が太腿側面に倒れて来た。（鉄板が前から滑り落ちて、後側が左足太腿側面に触れて負傷（打撲）した。）	40	145	4	～ 49
2017	11	12～ 13	会社内で、2トントラックの上に乗って鉄を降ろしていた際に滑り落ち、地面に手をついたため左手首を痛めた。	36	221	1	1～ 9
2017	11	11～ 12	プラットホームで不燃ごみの展開検査（ごみの中の処理不適物を抜き出す）作業中、ごみの中の鋭利な物が安全靴の上から刺さり、左足親指の付け根を切創した。	34	529	9	～ 49
2017	11	11～ 12	産業廃棄物の収集に向かう途中、高速道路が渋滞していて、停止中に後から追突された。	38	221	17	～ 99
2017	11	16～ 17	倉庫にて、1.5?の鉄バケツ（幅1.8m、奥行0.9m、高さ0.9m）内の廃棄物を選別中、中から取り出そうとした人工大理石の洗面台（長さ1.0m、幅0.5m、重さ20kg程）の縁を持って持ち上げ、左手をバケツの縁に掛け踏ん張り、右手1本である程度まで引き出したものの手が滑り落下、洗面台とバケツの縁に挟まれる形で左手薬	58	529	4	～ 29

			指第一関節を骨折、裂創する。				
2017	11	9~10	会社駐車場にて荷台の清掃作業後荷台から降りようとして、荷台が清掃後水で濡れていた事もあり足元が滑り転落した。転落した際にトラックの後ろに頭（後頭部）をぶつけた。後日に体調が急変し通院した。	48	229	1	1~9
2017	11	11~12	廃プラスチックを出荷するため、フォークリフトにてトラックへ荷物（フレキシブルコンテナ）を積み込む作業に立ち会っていたところ、バック中のフォークリフトに接触、転倒し、右後輪に右足太ももを踏まれた。	69	222	6	300~499
2017	11	17~18	RPF（固形燃料）製作時に安定供給の原料が無くなり、成形機を停止した。その時に排出ベルトコンベアーの異音に気付いてローラーを手で触れた際に、ベルトコンベアーに左腕を巻き込まれて負傷した。	42	224	7	30~49
2017	11	4~5	カーブを走行中に対向車（20tトラック）がセンターラインを越えて来て運転席部分に衝突された。その際、事故の衝撃でフロント部分がへこみ身体が挟まった状態となり全身打撲した。	38	231	17	10~29
2017	11	13~14	構内で、フォークリフトを運転し、2?の金属製の容器をバックで運搬中に、後方確認を怠り、駐車中の無人車両へ逆突した。事故当日は症状がなかったが、二日後位から首と腰が痛み始めて、その後我慢できなくなったため受診した。	33	222	3	30~49
2017	12	9~10	会社敷地内駐車場にて、除雪した雪を移動する為に載せるモッコ（網）の玉掛け用ロープが長かった為、切断しようとした時、手元がくるい右手で持ったカッターで左手親指を切った。今後、刃物を扱う時には皮手袋の着用、慎重に取り扱い作業する等、朝礼で安全作業の徹底を指導した。	46	364	8	50~99
2017	12	11~12	当社敷地内において、お客様がいらしたのでお客様を案内した後、所定の作業場に戻ろうとして歩いていたところ、地面が雪で滑りやすくなっていたため、誤って転倒し、右足首を捻って負傷した。	57	719	2	10~29

2017	12	15~16	自社管理のビニールハウスで、冬期の積雪対策として、ハウスの骨の補強作業中、ハウスの側で人力掘削をしているとき、盛り上げた土が深さ約60cmで作業している被災者に崩れてきて、右足が埋まった。当日はあまり痛みもなかったので作業を続けて帰宅したが、翌朝に痛みを感じたので病院で調べたところ、右足の骨折が分かった。	63	711	5	50 ~ 99
2017	12	9~10	客先廃棄物置場で段ボールの収集作業をしていた時、段ボール入れのカゴの段ボールがくずれないようにおさえに使っていた鉄板がたおれ、鉄板の角が左ふくらはぎに当たり、ふくらはぎを切った。鉄板を止めていた棒がひもから外れ、後ろを向いていた時に鉄板が倒れた。	49	611	6	10 ~ 29
2017	12	15~16	お客様構内にて、パッカー車でゴミ回収をしている際、雪で足が滑り、転びそうになって、反射的に手をついた所がゴミの投入口で、巻き込み板に挟まれてしまい、左手を負傷した。	52	221	7	30 ~ 49
2017	12	13~14	当社第一工場入口付近で、廃棄物収納ボックスをトラックから降ろす作業中に、ボックスを持ち上げたフォークリフトが何らかの原因ではずれ、ボックスとトラックの床に左手が挟まれ、指3本を骨折した。	39	222	7	10 ~ 29
2017	12	7~8	室内でカゴ台車を整理し移動していたところ、床の所々が濡れており、濡れていた床の上に右足を踏み入れたところ、急に右足が滑り出し、姿勢を立て直そうとしたが左膝を床に強打してしまった。	55	417	2	1~ 9
2017	12	14~15	選別カート内で廃棄物の選別をしている時に、長さ1.8m・巾0.9m・厚み30mmのベニヤ板を数枚、社長と被災者の2人で移動してBOXの上に載せた。その後、最後に残った1枚のベニヤ板を被災者1人で両手で頭上に持ち上げて、BOXの高さ1.5m位の所に載せた。その後、あばら骨付近に痛みが出るようになった。	63	522	19	30 ~ 49
			一般家庭ゴミの回収作業の動作によるパッカー車への乗り降り、積				30

2017	12	15~16	み込み作業が原因による腰の痛みと左膝の痛みが発生した。	56	611	19	~ 49
2017	12	16~17	会社倉庫内で、トラックのスタッドレスタイヤを整理するため移動させていた。荷台からタイヤを降ろしてもらう際、確認が不十分なまま受け取ろうとしたため、タイヤがバウンドしたことに気づくのが遅れて、タイヤが足にあたってしまった。	67	529	6	10 ~ 29
2017	12	14~15	構内作業場の不燃物の選別ラインで、ピットに不燃物を落とす最後のベルトコンベアの先端で、ごみが詰まったため、ごみを取り除く作業をしていた。コンベアの突っ張り棒の後ろからごみを取り除こうとしたところ、コンベアに左手（皮手と軍手を装着）を巻き込まれたものである。	22	224	7	30 ~ 49
2017	12	11~12	中間処理工場内にて、北ヤードの残土ステージから、重機を下ろそうとして、腕を伸ばして降りる体勢をとり、降り始めたとき、重機キャビン内で、被災者自身がその重機の傾斜により体のバランスを崩して、窓側へ倒れかけた。その際、重機のレバーが体の一部にあたり、そのレバーの運動により重機のアームが旋回した。その結果、下降中の重機がバランスを崩して転倒し、その際、被災者は頭と腰部を打ち被災した。	64	142	1	100 ~ 299
2017	12	10~11	当社工場内において、タイヤ切断機により切断時に発生した細いワイヤー（形状としては1mm、長さ1cm程）が衣服に付着していたのを払う為、業務終了後にその都度払っていたところ、3本のワイヤーが作業靴から入ってしまい、右足で踏んでしまったが、大したことはないと思い仕事を続けていた。年末休みに入り、休み明けに足に急激な痛みが発生し、救急にて病院に行き、ワイヤーが原因による入院となった。	71	521	9	30 ~ 49
2017	12	11~12	B3Fにおいて、パッカー車に廃棄用段ボールを積み込み作業中、誤って手で段ボールを押し込んだところ、作業手袋が段ボールと段ボールの間にはさまれ負傷した。	50	221	7	10 ~ 29

2017	12	11~12	事業所の施設内で8立方メートルサイズのコンテナに鉄くずを積み込む作業をしていた。積み込み作業後にコンテナの上にブルーシートを掛けるためにコンテナに上り、ブルーシートを掛けようとしたところ、コンテナからはみ出していたパイプ椅子の隙間に左足を取られてしまい転倒して左足がパイプ椅子の隙間に引っ掛かり宙吊りになってしまい、その衝撃で左足ふくらはぎを負傷した。	35	391	2	50 ~ 99
2017	12	11~12	工場構内（1Fヤード）において、トラックの荷を下ろし、お客様が帰った後、鉄くずを手を持ち置場へ運んでいた際、置場を仕切っているH鋼（高さ30cm×長さ3m、重さ100kg）が足元へ倒れ、右足第二趾の付け根に当たり、受傷した。受傷当日は違和感があったが歩けたため受診しなかったが、後日痛みが発生したため受診したものである。	55	521	5	10 ~ 29
2017	12	12~13	工場焼却炉近くの集積場において、収集してきた建築廃材の荷降ろし作業中、荷台（コンテナ）に上がり移動していたところ、麻袋の紐に左足が引っ掛かったためバランスを崩し、体勢を捻りながら荷台より落下した。その際に左足を荷台の縁にぶつけ、脛脛付近に切傷、および強く捻って足の付け根から尻に打撲を負い、あわせて両腕を強くつき両肩を負傷した。	35	221	1	50 ~ 99
2017	12	16~17	当社車庫作業所にて、作業場の後片付けをしていた。荷物を50cm程バックホーにより横移動し、荷物にかけたワイヤーを外したとき、ワイヤーに手を挟み、左手中指を負傷した。	47	372	7	10 ~ 29
2017	12	3~4	三方が壁に囲まれている場所に、入口が車両前方の状態での停車した。荷台シートの前部分をたたみ、後ろ部分をたたもうとして入口を背に向けて作業していたところ、突風が入口から吹き、シートとともに約3mの高さから落下し負傷した。	62	221	1	50 ~ 99
			下水管詰まり解消の緊急対応要請を受け、急遽別の作業をしていた環整系のメンバー3名が作業終了後に現場に行き、市職員（被災者B）と合流した。詰まり状況を確認後、開放するマンホールを決				

2017	12	15~16	め、蓋を開けて作業準備をしているなか、被災者Aが作業前の状況写真を撮影するために、マンホールの中に入った。この時、マンホール内に充満していた硫化水素を吸ってその場で座り込んで倒れ、被災した。被災者Bが、中に入った被災者Aの異常に気づき、助けようとしてマンホール内に入ったところ、内部の異臭に気づき、自力でマンホールから這い出て、病院に搬送されたが軽傷だった。被災者Aは、駆けつけたレスキュー隊に救助されたが、死亡が確認された。	41	514	12	50 ~ 99
2017	12	11~12	当社工場内の石置き場で、清掃および片付け業務をしていた際、突然、積んであった大きな石が崩れて落ちてきて、右足の足首辺りに当たった。激しい痛みとともに足が腫れてきて、自力で立てなくなったため、自宅に近い病院で受診したところ、足首を骨折していた。	28	523	4	10 ~ 29
2017	12	14~15	自社作業場で、廃材として回収した樹木（長さ30cmに切断したもの）を油圧式薪割り機（高さ50cm位）を使って割る作業をしていたとき、樹木（薪）が転がらないように手で押さえていたが、薪が動いた拍子に右手が滑り、薪を割るための突起物に挟まり、右手中指末節部の軟部を欠損した。	29	139	8	10 ~ 29
2017	12	17~18	会社内の作業スペースでドラム缶の切断作業中、ドラム缶の蓋を開けてガス抜き後、ドラム缶を切断しようとプラズマ切断機のトーチスイッチを入れたとき、ドラム缶の蓋の穴から熱風が出てきた。	48	519	11	1~ 9
2017	12	14~15	産廃の荷卸しの作業中、平ボディの荷台から、後ろ向きで落下し、腰を打ち、骨盤骨折を負った。	50	221	1	1~ 9
2017	12	10~11	小型破碎ごみ分別作業後、ショベルローダーで金属ごみの排出作業をしようとしていたとき、ショベルローダーのバケット上部に乗っていた小型破碎ごみを取り除こうと、一時運転を停止して小型破碎ごみを取り除いた。再度運転を開始したとき、壁面を保護するためのコンパネ板の端の部分に手を添えていたため、壁面とショベルローダーのバケット上部との間に、左手人差し指第1関節と中指第1	59	225	7	1~ 9

			関節を挟まれて負傷した。				
2017	12	7~8	シャワーノズル清掃中、集塵機の梯子から下りる際に手足が滑り、高さ40cmのブロック壁の上に落下した。	45	391	1	10 ~ 29
2017	12	9~10	地下1Fの紙類回収現場で、パンフレット等を束ねてあるもの（高さ約1.3m、横幅約70cm、重さ約80kg）を、被災労働者が持ち上げてパッカー車に移す際、右肋骨の一部を骨折した。	60	611	19	10 ~ 29
2017	12	13~14	走行中、突然、軽トラックが飛び出してきた。その反動で左側のガードパイプへ接触し、そのまま車ごと崖下へ転落した。	35	221	17	30 ~ 49
2017	12	11~12	吸引車のホース取り替え作業中に、同僚がホースの巻き取りを行っていたところ、右足がホースに挟まり負傷した。	44	221	7	10 ~ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html